

ももたろう基金

みんなつく災害対応の取り組み

- 7月7日 災害対応のための基金設置の発議あり
- 7月8日 全理事、監事の合意により基金設置が決定
法人内の基金の種類：社会変革基金
基金名「ももたろう基金」
- 7月10日 ニーズにあわせてテーマ設定をし、
随時助成実施することが決定
「第1次助成募集スタート」
- 7月17日 第2次助成募集スタート
※7月中はほぼ毎日現地へ
8月には真備のNPOにはヒアリングで職員派遣
- 現在第6次まで助成完了し、第7次、8次募集中

ももたろう基金 概要



ももたろう基金

2019年9月12日時点

寄付金額 48,840,017 円

のべ寄付者数 678人

67プロジェクト（助成数80）

助成額 35,477,287 円

「ももたろう基金」助成の流れ

1. ニーズ把握



みんなでつくる財団おかやまが

- 災害支援ネットワーク会議
- 活動中のNPO
- 当事者
- 現地調査
- 行政

などの情報源をもとに被災地のニーズを把握しています。

2. テーマ設定



「1」で把握したニーズから、被災地で必要だと考えられるテーマを選定しています。

<テーマ例>

被災者の孤立防止

コミュニティ形成

子どもの居場所

など

3. 助成



助成について、下記のような区分を設けています。

《LV.1》

既にニーズを把握して対象者とつながっている団体への助成

《LV.2》

重要なニーズに対して団体をつなげることで助成

《LV.3》

緊急を要し、特に重要なニーズに対して関係機関を調整し、積極的に私たちがプロジェクト組成し助成

※助成を保留にして、ニーズが発生した段階で助成を行うケースや助成は行わず、ニーズと団体をつなぐだけのケースもあります。

4. 報告・評価



実施した事業の報告と評価を行います。

助成について

※資金不要でニーズとのマッチングだけの団体も多数

《LV.1》既にニーズを把握して対象者とつながっている団体への助成

《LV.2》重要なニーズに対して団体をつなげることで助成

高梁市のニーズと子ども支援の団体のマッチングなど

《LV.3》緊急を要し、特に重要なニーズに対して関係機関を調整し、積極的に私たちがプロジェクト組成し助成

- ・真備の医療拠点づくり

（吉備医師会、真備記念病院、施工業者、倉敷市との連携と調整）

- ・避難所での緊急物資支援事業

（各避難所の自治組織、倉敷市物資管理チームと連携と調整）

LV3. 助成の事例

真備に医療拠点を維持するため、
まび記念病院に仮設の診療所の建設

吉備医師会が主体となり
まび記念病院と連携して
真備に医療拠点を設置

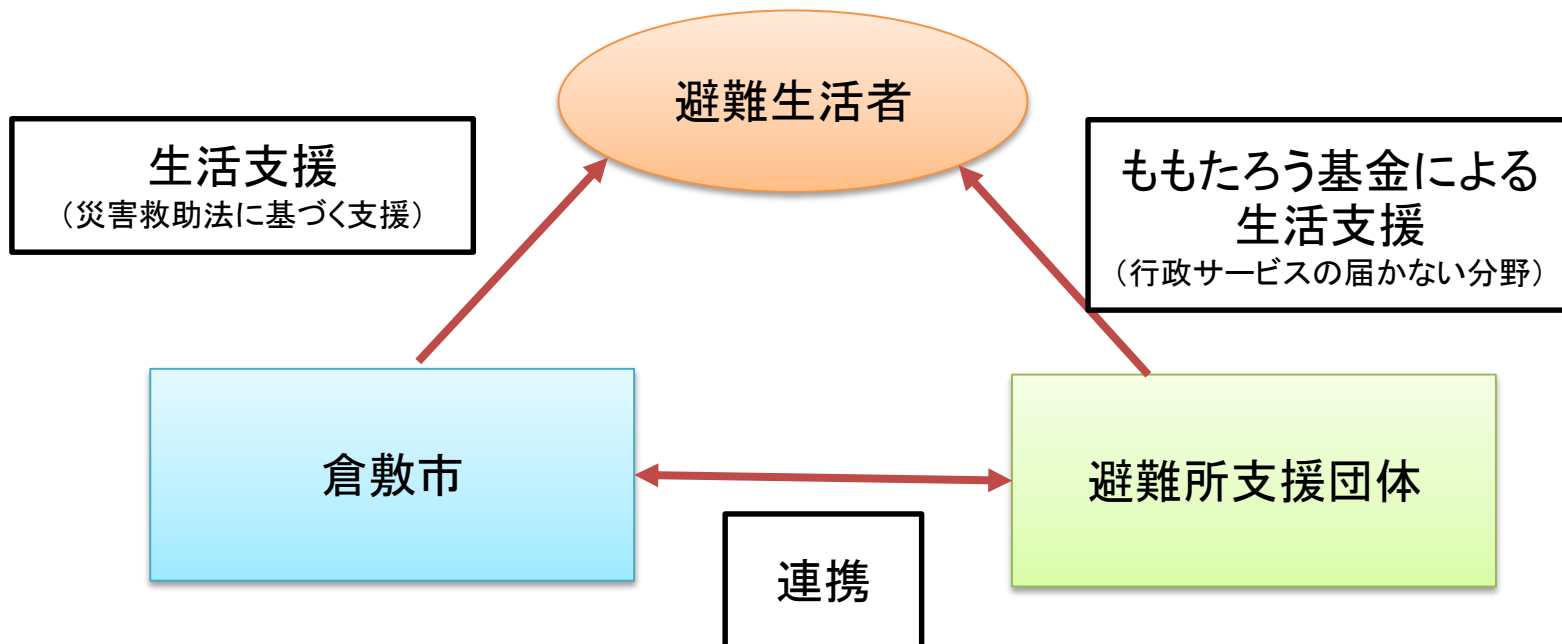
- ・プランの提案
- ・検討事項の整理
- ・関係者の調整等



LV3. 助成の事例

避難所における緊急物資調達事業

緊急のものや小口のこのスペシャルニーズなど
避難所運営メンバーで判断して調達できる仕組みづくり



現在の状況(今後の予定)

○助成(募集中～10月末)について

- ・第10次(災害支援・復興)助成

※11月からの活動が対象(採択結果は12月頭)

○寄付募集について

- ・2020年度までは助成実施予定

そのため、継続して寄付募集

私の思い

• People are GOOD !!

意思を持って資源(お金や時間)をつかう
手段と機会の提供

本人が思いをカタチにするお手伝い